

岩手県被災地支援状況報告

被災地支援の一環として、岩手県社会福祉協議会より全国社会福祉協議会を通じて、全国の障害者支援施設に支援要請がありました。

今回は被災した社会福祉施設へ支援を行っていくにあたり、必要とされている支援について把握するための現地のニーズ調査ということで、西日本各地より 12 名の参加支援者が招聘され、当施設からは、相談支援専門員の伊藤裕之氏が参加しました。

チーム編成時に、伊藤氏とゆうかり学園の中村氏の 2 名が、被災状況の特に甚大な社会福祉法人支援に廻ることとなり、山田市の障害者支援施設はまなす学園（旧知的障害者更生施設）に 4 泊 5 日での直接支援にあたりました。

施設自体は建物が津波で流出し、高台の青年の家へ入居者、スタッフで避難生活を送られています。その後、はまなす学園が法人所有のホテル「陸中ホテル」に避難所を移す、引越し作業等に従事したとのことです。引越し先は電気、水道、ガスが復旧していないとのことで、いまだ厳しい状況が続いています。

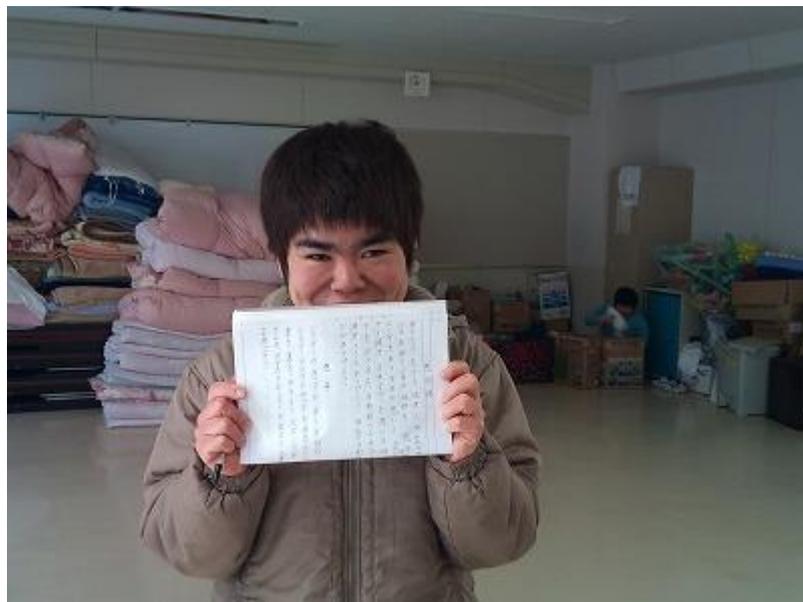
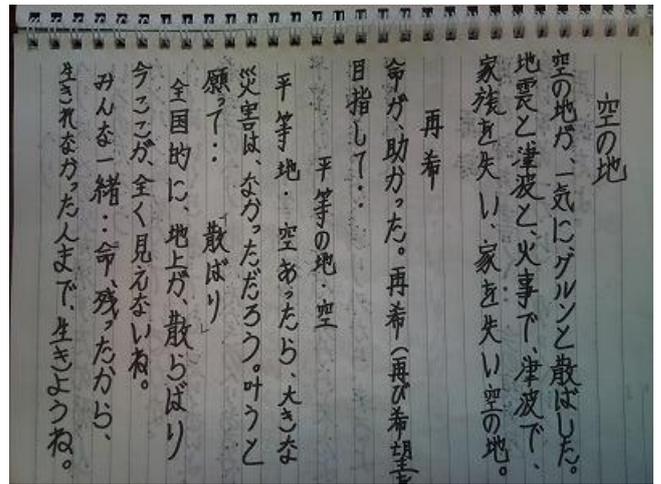
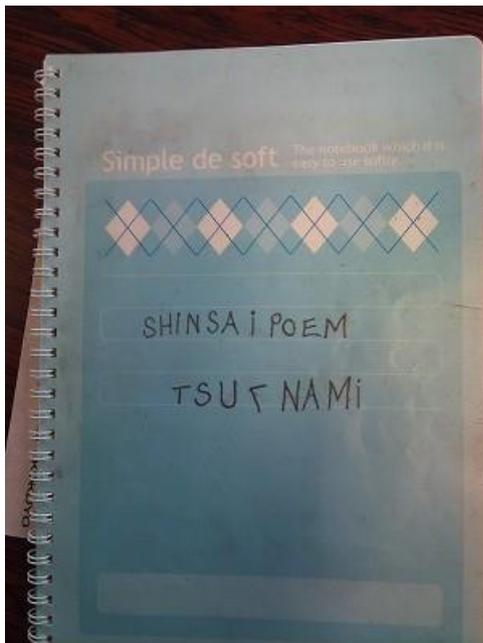
以下の写真は、山田市の被害状況を現地入りした伊藤、中村両氏により撮影されたものです。











佐藤 啓子さん

上記掲載写真の佐藤啓子さんは、伊藤・中村両氏の派遣された障害者「はます学園」のケアホームに入居されていました。震災当日は、高台の作業所に居たために津波には遭われませんでした。ホームは流されました。

佐藤さんは、震災当日から避難所で、大学ノートに「震災ポエム・津波」と題する詩を綴り始め、1日10編ほどの詩を綴り、ノートは3冊目になったそうです。

独特の表現力を持っている佐藤さんの詩を1編のみですが、ご紹介させていただきます。

希憶

あの日の希憶は、忘れてはいけない 希憶 海の希憶、
地球の希憶、
緑の希憶が全くないよ
みんなで叶力して、二度とないよう希憶する日。

2011. 4. 25 朝日新聞より一部抜粋